

公益社団法人徳島県看護協会

TOKUSHIMA
NURSING
ASSOCIATION

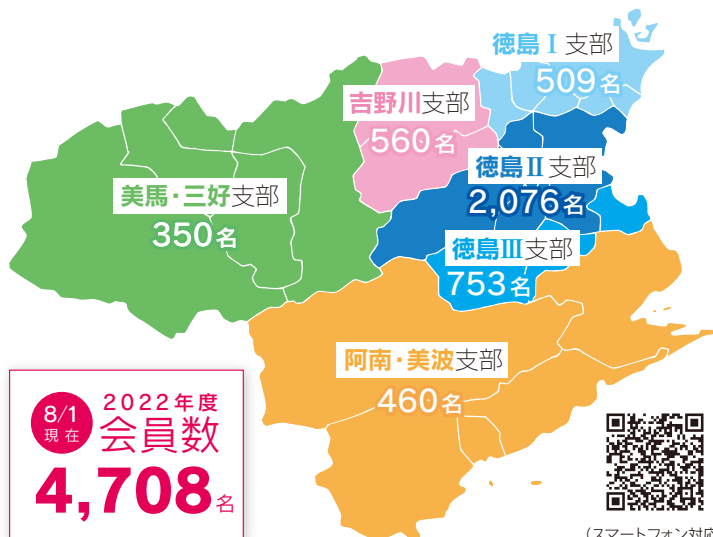
2022.8.10

協会ニュース

No.

103

表紙 写真提供 緒方静子様



CONTENTS

会長挨拶	2
春の叙勲および表彰	2
令和4年度 徳島県看護協会通常総会	3
2022(令和4)年度 役員・委員名簿	3
令和4年度 日本看護協会通常総会	5
地域包括ケアシステムに携わる看護職に聞く	6
ナースセンターだより	8
私の趣味	9
ワンポイントアドバイスNo.46	9
知事要望	10
事務局からのお知らせ	10
研修会のお知らせ	10
編集後記	10

会長挨拶



会長 稲井 芳枝

会員の皆様、日頃は公益社団法人徳島県看護協会の運営につきまして、多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

去る6月4日、感染対策を行い、出席者を制限した中ではありますが、令和4年度通常総会を無事に終えることができましたこと深く感謝申し上げます。

また、今なお新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない中、長期間に渡り、あらゆる保健、医療、福祉の現場で最善を尽くして、日夜業務に従事し、地域医療を支えている看護職をはじめ、医療関係者の皆様に、あらためて敬意を表しますとともに感謝申し上げます。

これからも、徳島県看護協会は、県民の健康と看護職の皆様の健康を守るため、日本看護協会をはじめ行政及び関係機関と連携を図りながら、皆様の活動をできる限り支えて参ります。

さて、看護を取り巻く状況は大きく変化しています。少子超高齢化社会の進展に伴い、全世代型地域包括ケアシステムの構築が急がれる中、高度化・専門化が進みケアの場は地域に広がっています。

その一方、看護職においても、高齢化・地域偏在・領域偏在が進み、看護職人材確保の課題がより一層深刻化しています。

このため、令和4年度は、次の5つの重点事業、①全世代型地域包括ケアにおける看護機能の強化②専門性を高める生涯教育の推進③健康で安全に働き続けられる職場環境づくり④社会の期待に応える地域活動⑤本会の目的を達成するための基盤整備に取り組んで参ります。

特に、看護の専門性を発揮するためのタスクシフト／タスクシェアを進めていくとともに看護が必要とされるあらゆる場所で看護が提供できるように、多様な働き方や生涯活躍について取り組んで参ります。

また、今般のコロナ禍の中で、看護職の活躍に社会が目を向ける機会ともなっています。この機を逃すことなく処遇改善等にしっかりと取り組んでいくなど、今後は看護の力や価値を示していきたいと思ひます。

本協会としましても、看護の課題を要望・提言として、引き続き県等に働きかけ、看護職の現状を広く伝えて参ります。

年2回発行している「和」も、会員の皆様のご要望にお応えできるよう工夫を凝らしていきます。

これからも、「つなぐ」をキーワードに、看護の心は一つ、今こそ看護の力で健康な社会を！力を合わせて乗り越えていきましょう。

今後も会員の皆様の更なるご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

おめでとうございます 春の叙勲 および 表彰



瑞宝単光章
美馬 敦美 様



医療功労賞
富士原 晴己 様



徳島県知事表彰
鈴木 察子 様



日本看護協会会長表彰
木田 菊恵 様

令和4年度



公益社団法人 徳島県看護協会

通常総会開催

令和4年
日 時 6月4日(土) 9:30~12:00

令和4年度

〈重点目標〉

- 1 全世代型地域包括ケアにおける看護機能の強化
- 2 専門性を高める生涯教育の推進
- 3 健康で安全に働き続けられる職場環境づくり
- 4 社会の期待に応える地域活動
- 5 本会の目的を達成するための基盤整備

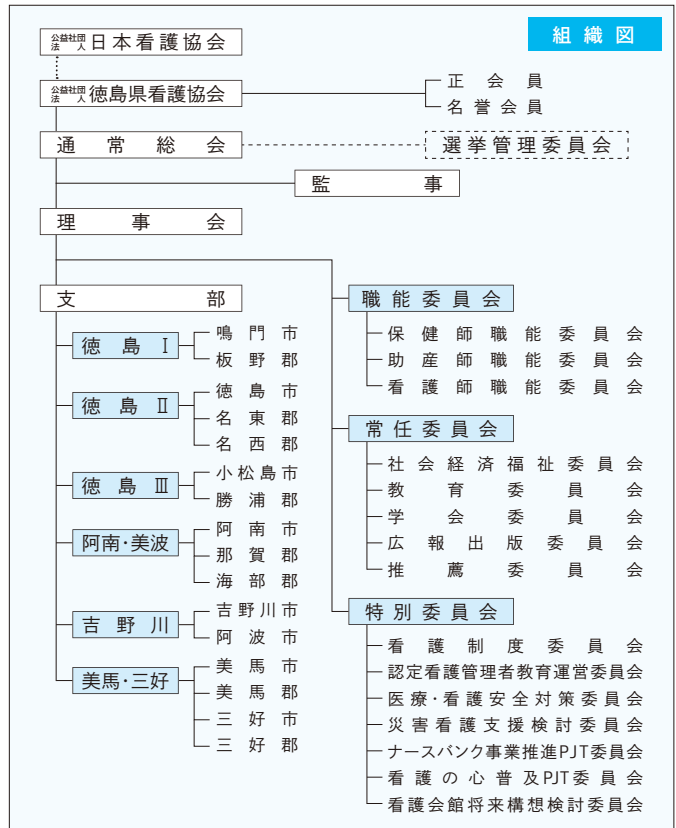
〈議案〉

- 第一号議案 令和3年度決算報告(案)及び監査報告
- 第二号議案 令和4年度役員及び推薦委員の改選並びに令和5年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について(案)

令和5年度

日本看護協会通常総会代議員・予備代議員候補者

職 種	代 議 員	予備代議員1	予備代議員2
保 健 師	原 美智代	横山 敦子	松村美智子
助 産 師	森内 洋美	境 貴世	知野 広美
看護師Ⅰ	宮本 美恵	切佐古幸代	戸田 伴江
看護師Ⅱ	大西 由香	渡部 光恵	岡 香於里
准看護師	高城 晴美	高松美由貴	



2022 (令和4) 年度

役員

役職・職能	氏 名	担当委員会名	勤 務 先
会 長	保・稲井 芳枝		公益社団法人徳島県看護協会
第一副会長	助 鈴記 洋子	職能活動総括・学会担当・看護会館将来構想検討委員会	公益社団法人徳島県看護協会
第二副会長	看・森 恭子	支部活動総括・認定看護管理者教育運営委員会・看護制度委員会	公益社団法人徳島県看護協会
専務理事	保 横山 敦子	災害看護支援検討委員会・ナースバンク事業推進プロジェクトチーム委員会・看護の心普及プロジェクトチーム委員会	公益社団法人徳島県看護協会
常任理事	看・石山由紀子	医療・看護安全対策委員会	公益社団法人徳島県看護協会
理 事	保 原 美智代	保健師職能委員長	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
〃	助・森内洋美	助産師職能委員長	徳島大学病院
〃	看 宮本美恵	看護師職能委員長	徳島県立中央病院
〃	看 喜来浩美	徳島Ⅰ支部長	徳島県鳴門病院
〃	看・橋本幸子	徳島Ⅱ支部長	徳島市民病院
〃	看・久米宏実	徳島Ⅲ支部長	徳島赤十字病院
〃	看 舘 美加	阿南・美波支部長	JA徳島厚生連阿南医療センター
〃	看・三木真澄	吉野川支部長	JA徳島厚生連吉野川医療センター
〃	看・岸本小百合	美馬・三好支部長	徳島県立三好病院
〃	看 佐藤晴久	広報出版委員会	藍里病院
〃	看 岩佐幸恵	教育委員会	徳島大学大学院医歯薬学研究部
〃	看 岩本優子	社会経済福祉委員会	徳島赤十字ひのめ総合療育センター
〃	准・高城晴美	看護制度委員会	小松島病院
監 事	〃 外部 孝志 洋平		さくら税理士法人
〃	看 美馬敦美		徳島県鳴門病院

・印の理事はR3、R4年度任期

職能委員

氏 名	勤 務 先
保 健 師 職 能 委 員 会	
原 美智代	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
・金山三恵子	四 国 大 学 看 護 学 部
・木下沙姫	徳島県西部こども女性相談センター
武市有紀子	徳 島 市 子 ど も 健 康 課
藤本ありさ	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(三好保健所)
村橋丈彦	鳴 門 市 役 所
・森内洋美	徳 島 大 学 病 院
助産師職能委員会	
伊丹恵美	JA徳島厚生連阿南医療センター
・知野広美	つるぎ町立半田病院
橋本美歩	徳 島 県 立 中 央 病 院
富士本里美	JA徳島厚生連吉野川医療センター
・美馬良美	徳 島 赤 十 字 病 院
宮本美恵	徳 島 県 立 中 央 病 院
大西由香	藍 里 病 院
・岡 香於里	た ま き 青 空 病 院
看護師職能委員会	
・川野多由見	徳 島 赤 十 字 病 院
・切佐古幸代	徳 島 県 立 三 好 病 院
辻 敬子	き た じ ま 田 岡 病 院
・戸田伴江	徳 島 市 民 病 院
富樫和代	独)国立病院機構徳島病院
・藤原都志子	徳島県看護協会複合型サービス事業所あい
渡部光恵	四 国 大 学 看 護 学 部

・印の方はR3、R4年度任期

常任委員

	職能	氏 名	勤 務 先
社会経済福祉委員会	保	・國見華子	徳島県教育委員会 福利厚生課
	保	永井萌花	徳島県発達障がい者総合支援センターアイリス
	助	・坂東美穂	つるぎ町立半田病院
	看	井内裕子	亀井病院
	看	廣瀬千江美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看	・森本美香	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
教育委員会	保	・豊岡江実	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	保	・山田豊美	徳島県南部総合県民局保健福祉環境部(美波保健所)
	助	・坂口朋枝	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	助	・新居アユ子	四国大学看護学部
	看	・岩佐武彦	徳島県立中央病院
	看	榎本幸代	徳島赤十字病院
	看	・黒川布美	独)国立病院機構東徳島医療センター
	看	・作田久美	徳島県立総合看護学校
	看	四宮広美	徳島大学病院
	看	・問矢三津子	徳島市民病院
	看	西分延代	川島病院
	看	橋本浩子	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	看	堀江江美子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看	前川涼子	徳島赤十字ひのみね総合療育センター
	看	・山岡真由美	徳島県鳴門病院
	看	山元明美	T A O K A こころの医療センター
学会委員会	保	小林優香	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	助	・川下美紀	徳島大学病院
	助	・山田健代	徳島文理大学保健福祉学部
	看	鵜飼真有	独)国立病院機構東徳島医療センター
	看	・蔭山綾子	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看	・板東孝枝	徳島大学大学院医歯薬学研究部
広報出版委員会	看	・福田ひろみ	徳島赤十字病院
	保	・湯浅香苗	徳島県東部保健福祉局(徳島保健所)
	保	吉村尚美	四国大学看護学部
	助	國安由美子	徳島県立三好病院
	看	岩崎奈緒	徳島県立中央病院
	看	・笹松香奈	J A 徳島厚生連阿南医療センター
推薦委員会	看	・萩原梨花	独)国立病院機構東徳島医療センター
	看	増田恵里	徳島市民病院
	看	・米田泰代	徳島赤十字病院
	保	西谷範子	徳島県西部総合県民局保健福祉環境部(美馬保健所)
	保	・濱堀由美	徳島県中央こども女性相談センター
	助	岡崎和世	徳島県立三好病院
	助	・橋本綾	徳島大学病院
	看	・柿本朋子	徳島市民病院
	看	島田啓子	徳島県鳴門病院
	看	・豊野弥生	徳島県立中央病院
	看	・中野敦子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看	花岡賀美	徳島県立海部病院
	看	林由理子	徳島赤十字病院

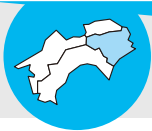
6支部

	支部名	支部長名	勤 務 先
支部長	美馬・三好支部	岸本小百合	徳島県立三好病院
	吉野川支部	・三木真澄	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	徳島支部Ⅰ	・喜来浩美	徳島県鳴門病院
	徳島支部Ⅱ	・橋本幸子	徳島市民病院
	徳島支部Ⅲ	・久米宏実	徳島赤十字病院
	阿南・美波支部	舘美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター

・印の方はR3、R4年度任期

特別委員

	職能	氏 名	勤 務 先
看護制度委員会	保	徳永あいこ	徳島県保健福祉部医療政策課
	看	藍原美鈴	徳島県立総合看護学校
	看	阿部純子	きたじま田岡病院
	看	英直美	徳島県鳴門病院附属看護専門学校
	看	森数江	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看	森恭子	徳島県看護協会
	准	高城晴美	小松島病院
	准	田村浩子	鴨島病院
	看	石川和恵	徳島県立三好病院
	看	庄野まゆみ	徳島赤十字病院
認看護管理看護教育運営委員会	看	高開登茂子	徳島文理大学保健福祉学部
	看	中野あけみ	徳島大学病院
	看	三木真澄	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看	森恭子	徳島県看護協会
	看	山田真裕美	徳島県看護協会
	看	石山由紀子	徳島県看護協会
	看	大坂朱美	徳島大学病院
	看	桑村富久枝	徳島赤十字病院
	看	中野敦子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看	橋本佳世子	徳島市民病院
医療・看護安全対策委員会	看	向井幸子	徳島県鳴門病院
	看	村上まどか	徳島県立海部病院
	看	和田光代	徳島県立中央病院
	保	阿部末菜実	徳島県保健福祉部医療政策課
	保	山下留理子	徳島大学大学院医歯薬学研究部
	保	横山敦子	徳島県看護協会
	看	逢坂めぐみ	徳島県立総合看護学校
	看	大西須真子	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看	桑村直美	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看	畠中カズ子	つるぎ町立半田病院
災害看護支援検討委員会	看	藤本華織	徳島赤十字病院
	看	山下千花	徳島市民病院
	保	緒方静子	徳島県看護協会
	助	鈴記洋子	徳島県看護協会
	看	木田菊恵	自宅
	看	近藤佐地子	大久保病院
	看	滝下優子	徳島県鳴門病院
	看	中西仁美	J A 徳島厚生連吉野川医療センター
	看	名西明美	徳島県立中央病院
	看	原良江	徳島市民病院
看護会館将来構想検討委員会	看	藤原都志子	徳島県看護協会複合型サービス事業所あい
	看	松崎和代	自宅
	看	森弥生	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	保	徳永あいこ	徳島県保健福祉部医療政策課
	保	横山敦子	徳島県看護協会
	助	中野和美	徳島県立総合看護学校
	看	石川早由里	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看	近藤幸子	むつみホスビタル
	看	笹田真紀	川島病院
	看	高岡正和	小川病院
ナース事業部・リハビリ事業部	看	西村久美子	J A 徳島厚生連阿波病院
	保	阿部末菜実	徳島県保健福祉部医療政策課
	保	横山敦子	徳島県看護協会
	看	勝瀬昌代	徳島県立海部病院
	看	岸本小百合	徳島県立三好病院
	看	黄田千佳	つるぎ町立半田病院
	看	喜来浩美	徳島県鳴門病院
	看	久米宏実	徳島赤十字病院
	看	西村久美子	J A 徳島厚生連阿波病院
	看	橋本幸子	徳島市民病院
看護の心普及プロジェクトチーム委員会	看	舘美加	J A 徳島厚生連阿南医療センター
	看		



令和4年度 公益社団法人 徳島県看護協会 通常総会開催

公益社団法人徳島県看護協会通常総会を令和4年6月4日（土）に徳島大学大塚講堂で開催しました。

今年度は感染対策を行い、出席者数を通常の半数程度とし、時間を短縮したプログラムとしました。7名の来賓の方々をお招きし、一般参加者を含めた179名の出席と委任状3,645名の合計3,824名の参加で開催しました。

議決事項の第一号議案「令和3年度決算報告（案）及び監査報告」第二号議案「令和4年度役員及び推薦委員の改選並びに令和5年度日本看護協会代議員・予備代議員の選出について（案）」と報告事項の令和3年度事業報告、令和4年度重点政策・重点事業並びに事業計画、令和4年度資金収支予算及び収支予算について協議、報告がされ、議決事項はすべて承認されました。



令和4年度



日本看護協会 通常総会

令和4年 6月8日（水）

場 所 幕張メッセ
（千葉県千葉市）

令和4年度

公益社団法人 日本看護協会代議員

- 保 松村美智子 個人
- 助 森内 洋美 徳島大学病院
- 看 宮本 美恵 徳島県立中央病院
- 看 梅津 友紀 個人
- 准 高城 晴美 医)小松島病院



日本看護協会は6月8日、令和4年度通常総会を、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、例年より規模を縮小した上で、幕張メッセイベントホール（千葉県千葉市）で開催されました。

750人の全代議員（「議決権行使書」提出者を含む）の出席と、一般会員171人の参加がありました。

通常総会では、議決事項2議案と報告事項4事項が協議・報告されました。議決事項第一号議案「名誉会員の推薦（案）」は承認され、15名の方が名誉委員となりました。第二号議案は、推薦委員会候補以外に立候補はなく、候補者全員が承認されました。報告事項では、令和3年度事業報告と決算報告及び監査報告、令和4年度重点政策・重点事業並びに事業計画と資金収支予算及び収支予算が報告され、い

ずれも承認されました。

重点政策4・重点事業12

1. 全世代の健康を支える看護機能の強化
 - 1-1 看護提供体制の構築
 - 1-2 地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取組み
 - 1-3 地域における看護職の確保と活躍推進
2. 専門職としてのキャリア継続の支援
 - 2-1 看護職の働き方改革の推進
 - 2-2 看護職のキャリア構築支援
 - 2-3 看護師の生涯活躍支援体制の構築
3. 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮
 - 3-1 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト／シェアに関する事業
 - 3-2 特定行為に係る看護師の研修制度の活用推進
 - 3-3 資格認定3制度の養成戦略の検討
4. 地域の健康危機管理体制の構築
 - 4-1 新型コロナウイルス感染症への対応
 - 4-2 感染症のパンデミック及び災害時の看護支援活動に関する事業
 - 4-3 本会のBCP（事業継続計画）の策定

翌6月9日には、全国職能交流集会在保健師職能、助産師職能、看護師職能Ⅰ、看護師職能Ⅱに分かれて開催されました。

地域包括ケアシステムに 携わる看護職に聞く ～ 県北部における地域看護職連携～



地域包括ケア実現に向けた看護職連携



徳島県看護協会
東部地域密着エリアマネージャー
杉原 治美

地域包括ケアシステム構築に寄与することを目的に、エリアマネージャーが東部に配置され4年目となりますが、県北部で3か年（2019～2021年度）に取り組んだのは、地域包括ケアシステムについて理解を深め、地域の看護職の連携を図ることでした。

地域包括ケア実現に向けた看護職連携として退院支援をテーマに、「地域の看護職同士が対象者の生活を支えるために、同じ目標を持って信頼しあい、対等の立場で協働すること」を目的に取り組みました。地域看護職連携推進会議には病院地域連携室の看護師、訪問看護師、市町村保健師等が参加され、連携窓口の明確化や情報共有のあり方が検討されました。

看護職連携の段階「地域の課題を知る」→「顔の見える関係づくり」→「目標達成のための体制構築」→「包括的ケアの提供・推進」と進める予定でしたが、コロナ禍で会議開催方法がWebになり、連携方法でも新たな課題も出ています。今後も包括的ケアの提供・推進に向けご協力の程よろしくをお願いします。

患者が安心して「生活」できるために 私達がすべき事



徳島県立中央病院
患者支援センター
看護師長
辻 利恵

コロナ禍で面会制限のある入院患者・家族にとって、住み慣れた環境での療養は最大の願いです。しかし、急性期を脱したばかりの状況では不安も抱えている事も多いのが現状です。地域連携担当となって思うことは、病院は「治療する場所」だけでなく、「帰る準備をする場所」であるということです。患者を間近で支える看護師が病状だけでなく「これからの生活」においても着目し、看護を展開していく事が重要になります。そして地域担当者が各施設や在宅を担う看護師と途切れない連携をとり、患者の思い描く「生活」への実現に繋げていきます。

地域包括ケアシステムの一員として 日々感じる事



地方独立行政法人徳島県鳴門病院
患者サポートセンター
溝渕 理恵子

地域包括ケアシステム推進参画事業として実施された、この会議に参加させて頂きました。病院では“患者”と言う呼称になりますが、一人の人が一時期利用する場所だと考えると、病院で、患者サポートセンターで勤務する者として、病院職員にどのような働きかけが出来るのか、病院外の人達とどのように連携していけば良いのか、課題が見えてくる会になりました。生活者としての一個人を対象としている認識を持ち、多職種と連携を図るよう日々努力をしていきたいと思っています。

病院と暮らしを繋ぐ架け橋に



きたじま田岡病院
患者サポートセンター
看護師長
辻 敬子

私は患者サポートセンターに所属し、受診相談や入退院支援、地域医療連携に携わっています。地域包括ケアシステムが推進される中、地域での暮らしを支えるためには、退院後の生活を見据える力と多職種連携が重要であると実感しています。特に医療ニーズの高い療養者においては、訪問看護師との看看連携が重要であり、看護を繋ぐと共に療養者とご家族の「思い」を繋ぐ架け橋になれるよう取り組んでいきたいと思っています。

コロナ禍における看看連携の在り方



社会医療法人凌雲会
稲次病院 地域連携室
看護師長
堀江 和枝

県北部の地域では、令和元年より看看連携推進会議として、中核病院・中小病院・訪問看護の管理者による、顔の見える情報交換が開始されました。それぞれの提供可能な医療体制や欲しい情報は何か等、相互を理解する貴重な会議となり看看連携の重要性を感じるものでした。会議としては一旦終了しましたが、コロナ禍における連携の在り方として、ICTを活用した退院前カンファレンスや会議・ハイブリット研修等、どこにいても参加ができるという利点もあり、今後も状況に応じた方法で、地域をつないでいきたいと思っています。

地域包括ケアシステム構築のための看看連携



医療法人緑会
小川病院
看護部長
高岡 正和

地域包括ケアシステム構築のためには、医療機関や介護施設、職種間での連携が必須であり、様々な職種間の連携強化が進められています。中でも看護職は、中心的な役割を担っています。看護職同士がしっかりと連携をすることにより、多職種の連携も促進され、対象となる方が住み慣れた地域で過ごすことができるようなシステムの構築につながります。また、顔の見える関係づくりだけでなく、連携する者同士が所属する組織や施設についても理解しあうことで、組織間同士がつながっていくのではないかと考えます。

地域包括ケアシステムに携わる看護師として新たに再確認したこと



ナースサポートゆとり
杉原 玲子

ここ1・2年はコロナ禍で最後の時を自宅で過ごしたいという方が多くなってきていました。本人は自宅で暮らせるのはありがたいです。しかし核家族化が進み一人で生活している高齢者も多くなり種々のサービスを利用しないと自宅では生活できなくなってきています。この機会を有意義にとらえ医療・介護や予防サービスの利用を促し、地域の方々の力も借り高齢者や病気で苦しむ方々・認知が心配な方などを支えていければと考えています。今後も病院との連携、特に看護師間で情報を共有することで利用者さんが安心して自宅で過ごせる鍵となると思います。これからも直接言葉を交わしながら看護師として地域で暮らしたいと思っています。

地域包括ケアシステムの一員として看看連携を考える



あいざと訪問看護ステーション
妹尾 玲子

訪問看護では、多様な疾患を持ちながら、生活している人々と関わる機会が多くあります。服薬や生活調整ができず体調を崩す等、様々な問題を抱え入退院を繰り返す事も少なくありません。疾患の重症化予防の為に、入院中から在宅までシームレスな看護を提供する必要があります。看看連携により、必要な情報や課題が共有できれば看護の質向上に繋がります。住民が安心して生活ができるよう支援する為には看看連携は、重要であると思っています。



ナースセンターだより

徳島県看護会館で「看護の日」イベントを3年ぶりに開催しました。

日時 令和4年5月8日(日) 14:00~16:00

トークイベント パブリックビューイング(日本看護協会主催)

では「忘れられない看護エピソードや「看護の日」キャラクター・ロゴマークの発表がありました。

看護体験コーナーでは採血・筋肉注射・正しい手洗い・AED(心肺蘇生)を徳島県内13高校から参加した50名が体験しました。参加の皆様全員がそれぞれのコーナーで体験され、未来の自分の姿をイメージしているようでした。



参加の高校生の皆様から看護職へのメッセージをいただきました。ホームページに掲載しております。ぜひご覧ください。



「離職防止相談窓口」

を開設しております。

連絡方法 相談はお電話、メール、看護協会への来所でお受けいたします。

TEL 088-631-5544

メール info@tokushima-kangokyokai.or.jp
(メールでも可能です)

相談日 月曜日~金曜日
(祝日・年末年始を除く)

受付時間 9:00~12:00 13:00~16:00
(予約は不要です)

「明日のナースへ」

現役看護職からのメッセージを映像で配信しています



看護を必要としているあらゆる場所で、様々な年齢の看護職が、使命感と誇りを持ってイキイキと働いています。



取材にご協力いただきました皆様ありがとうございました。

潜在看護職研修会を開催しました

テーマ 新型コロナウイルス感染症の最新知識を得る

日時 6月23日(木) 10時~12時

講師 ・徳島県保健福祉部感染症・疾病予防統括監 鎌村 好孝 氏
・博愛記念病院 副院長 元木 由美 氏

参加の方のアンケートより

- 最新のコロナ感染症の対策の現状が良く分かりました。
- 新型コロナウイルスの治療、検査などについて、とてもよく分かりました。
- 県内のコロナ状況を知ることができて、関連施設、医療機関の取り組みや連携を学びました。



テーマ 感染管理、感染予防に関する知識・技術を得る

日時 6月30日(木) 10時~12時

講師 徳島県立海部病院 感染管理認定看護師 藤田 洋子 氏

参加の方のアンケートより

- 防護具の着脱の順番の基本、注意点がよく分かりました。
- 手指消毒を丁寧に、しっかりと！を再認識しました。
- N95マスクフィットテストを実施してみても、空気の漏れ、侵入があることが分かり、良かったです。

フィットテスターによるN95マスクの装着確認



手洗い後の洗い残しを確認



防護服着脱演習



私の趣味



徳島市民病院
松永 郁子

バルーンアート

私の趣味は、バルーンアートです。子育てが一段落した頃、再会した高校の同級生の影響でバルーンアートを始めました。

風船で動物や花など様々な作品にチャレンジするのも楽しいですが、その作品を見て子供達が笑顔になることが嬉しくて今日まで続けてきたように思います。

風船は、ゴムの樹液で出来ており環境に優しく低コストで手軽に子供から大人まで楽しむことができます。

皆様も機会があれば、ぜひ体験してみてください。



医療安全対策

No.46

ワンポイントアドバイス

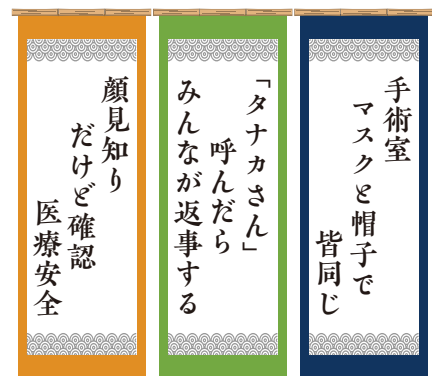
患者 誤 認 防 止

..... 患者確認は医療安全の第一歩

- 実施前に氏名を確認していますか？
- 顔なじみだから大丈夫とおもっていませんか
- 確認は、最後まで**指差し呼称**



【注意】職員からの名前の呼びかけは適切な「確認作業」ではありません。



知事要望

公益社団法人
徳島県看護協会
R4.6.3(金)

6月3日(金) 会長、第1副会長、第2副会長、専務理事、理事7名が県庁を訪問し、県内での感染管理認定看護師教育課程の開講についての知事要望を行いました。

知事からは、人材の養成・確保に向け対応していくとのコメントをいただきました。

事務
局
から
の
お
知
ら
せ

このたび研修会場にWi-Fi設備を設置しました。
今後の研修会でご利用いただけます。



研修会のお知らせ

令和4年度看護職交流集会

日時 令和4年9月19日(月・祝) 13:30～15:30

場所 徳島県看護会館

内容 講演「2040年に向けて看護の役割と看護基礎教育」

講師 香川県立保健医療大学 学長
公益社団法人 日本看護協会 副会長 井伊 久美子 氏

対象 保健・医療・福祉関連施設、看護教育施設、及び
AWAナース等全ての看護職

方法 ハイブリッド形式
集合研修(先着50名)・Web研修(先着90名)

参加費 無料

申込 集合、Webでの参加いずれもホームページから申込

9月12日(月)締め切り

看護のタスクシフト／タスクシェアが進められている中で、看護職の役割を発揮し、医療・看護の提供に貢献するためには、「看護の価値」について再確認し、必要な看護を提供していく必要があります。

そこで今回、日本看護協会副会長であり、香川県立保健医療大学学長の井伊久美子氏をお招きし、看護の「基礎教育」を踏まえた、これからの看護のあり方について示唆をいただき、今後の質の高い看護の提供に活かすことを目的として研修を企画しました。

多くの方々のご参加をお待ちしています。よろしくお願いします。



写真提供 森山節子様



お詫び



前号(No.102)の「卒業生からの寄付金のお礼」の記事において、徳島県立総合看護学校卒業生からのご寄付について、「第二看護学科」と掲載いたしましたが、正しくは「准看護学科」でしたので、お詫びして訂正させていただきます。

編集後記

協会ニュース「和」の発行にあたりご協力いただいた皆様、有難うございました。今後も皆様が身近に感じる話題を提供してまいります。

(広報出版委員一同)